

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11			要件は満たしている
	②	職員の配置数は適切であるか	11			最低配置人員を常に上回った状態である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3		駐車場からフラット状態で入口に行ける。室内に入るのにすべり止めが施されているスロープがある。トイレはバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	1		ほぼ毎日、事前の共通認識を図るためミーティングをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	2		まだまだ改善及び周知をしまいらなければならないと考えている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			毎年ホームページで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			11	第三者による外部評価は現在実施できていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			外部研修に関しては、時間の都合のつく職員は参加しております。 虐待等の内部研修も回実施しております。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			日々の変化を見逃さず、行動を記録し、非常勤職員も含めた意見を取り入れながらアセスメントを行っている。そのうえで、6ヶ月毎に保護者様との面談にて、ニーズを聞き取り、課題を設定している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	4		本事業所独自のシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1		チームという形ではないが、会議で皆の意見を出し合い決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	5		児童の変化を観察しつつ臨機応変に行うようにしております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	7		基本的に平日と休日、長期休暇ではプログラム及び対応を変えております。きめ細やかにとまではいたっておりません。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		もちろん個別と集団、両方で考えないと成り立たないと考えております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2		面談後の新たな取り組みについては認識の共有を図り、同じ内容の支援を行うように話をしている。シフトによっては打ち合わせに参加できない職員もあり、連絡ノートを活用しております。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	8	1	支援終了後もしくは翌日に、問題点がある場合には今後どのようにするかを話している。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			毎日、KKTに子供の行動及び状態を記録し、保護者へ伝達しています。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		面談や送迎などの機会を通じて、お話をされる保護者様の意見をモニタリングして、サービス計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	7		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11			サービス担当者会議が開催される場合は最もふさわしい人物が参加しております。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11			学校からの年間行事・行事予定のプリントのコピーを保護者からいただいている。又、連絡ノートに次回の下校時刻を記入していただくようにしている。送迎時には携帯電話を活用し、渋滞などで遅れる時などを含め連絡を取るようになっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	6	2	発作等の緊急時の対応方法を保護者様と話し合い共有しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	2	1	利用していた園及び事業所による。児童発達支援事業所からは引継ぎの資料を頂くこともあります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	6		情報を提供する必要性があれば行いたいと思う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	2		研修は受けていないが、連携し、助言を仰いでいる機関もある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	9	相手方の理解を得る難しさもあり、事故及び怪我のリスクを考えると及び腰になってしまう。また感染対策の面でも難しいと感じている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			11	案内等が無ければ、敢えて参加はしない。
保護者への説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1		なるべく連絡ノートや送迎時などに児童の様子や状況を伝え共通理解を心掛けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	6	2	日々の連絡ノート等でアドバイスをさせていただくことはあるが、企画としては実施できていない。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1		新規契約並びに、変更点がある場合は面談時に全員に説明しております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			相談のあった保護者様に対しては臨時面談を設ける等の対応をいたしております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	6	感染対策の面からここ数年実施できてはいませんが、今後要望があれば開催及び支援してゆきたいと思います。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			連絡があった事項に対しては早急に対応しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	1	活動概要はブログで公開している。行事予定はメールにて発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	10	1		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1		十分とは言えないが、皆、努力している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	9	行事事態自粛することが多くなってしまったが、今後事業運営をしていく上で検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	6	2	伝わっていない保護者もいるので、今後は紙ベースなど様々な伝達方法を駆使し、周知徹底を図りたいと思います。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	6	1	年に4回行っているが、勤務状況により参加できていない職員もいるため今後さらに徹底していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			少なくとも月一回は行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	1		保護者様に説明した上で計画に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	3		アレルギーの聞き取りを行い、対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			ヒヤリハットに関しては連絡ノートとミーティングで共有している。